

RNN速報

「フィリピン・セブ島、ミンダナオ島地震」被災者緊急支援のお願い

RNN事務局長 黒 住 宗 道

各位

AMDA は 9 月 30 日にフィリピン中部のセブ島沖で発生したマグニチュード 6.9 の地震、10 月 10 日にフィリピン南部ミンダナオ島沖で発生したマグニチュード 7.4 と 6.8 の地震で被災した方々の支援のため、日本から AMDA チームを派遣しました。余震も多発しており、10 月 16 日現在、セブ島では死者 76 人、負傷者 559 人、被災世帯は 21 万世帯 72 万人以上、ミンダナオ島では、死者 8 人、負傷者 176 人、被災世帯 27 世帯 118 万人以上にのぼっています。(フィリピン国家災害対策本部発表)

両島での支援活動を視野に入れた AMDA 派遣チーム(看護師 2 名、調整員 1 名)は、まずミンダナオ島での支援活動を行うため、13 日に同島ダバオに到着、フィリピン軍関係者および AMDA フィリピン支部のメンバーと合流、14 日、15 日と 2 日間にわたり購入した支援物資の梱包を行いました。

16 日から日本人看護師 1 名が加わり、AMDA 派遣チームは、

- ① AMDA 現地協力者であるメルカド氏(フィリピン海軍予備役准将、Asian Center for Excellence in Development & Security 理事長)を中心とするフィリピン軍との活動と
- ② AMDA フィリピン支部との活動と活動地域を 2 カ所にして、物資の配布と、小学校でのメンタルヘルスケアを行っています。なお、AMDA 派遣チームはミンダナオ島での活動を継続する予定です。

【派遣者】*敬称略

- ・萩野 祥子(おぎの しょうこ) / 看護師 / AMDA緊急救援ネットワーク
- ・大山 マジョリー(おおやま まじょりー) / 調整員 / 岡山倉敷フィリピノサークル
- ・宿里 謙次(しゅくり けんじ) / 看護師 / AMDA緊急救援ネットワーク

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の〆切を本日から 1 カ月後の 2025 年 11 月 18 日といたします。宜しくお願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ① RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク (INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「フィリピン地震」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933